

◆年報 32 号(2025-26 年度)投稿規程

1 応募資格

日本移民学会会員であり、当該年度までの年会費を納めた者。

2 投稿の種類

以下の 4 種類。

論文(特集テーマ)

論文(一般)

研究ノート(特集テーマ)・研究ノート(一般)

注 1：当該年報の特集テーマに関連する投稿を「特集テーマ」、それ以外を「一般」とする。

注 2：研究ノートとは、現在進行形の研究を中間的に発表するもので、テーマが独創的で新たな展望が開かれる可能性をもち、専門を同じくする者へ問題を提起するような論考とする。

注 3：いずれの場合も先行研究を踏まえ、執筆者のオリジナルな研究であることが採用の条件である。

注 4：記述言語は日本語を基本とする。英語での投稿も認めるが、事前に受領の可否を編集委員会で判断する。事前申込み時に申し述べること。

3 注意事項

投稿原稿は未発表(未刊行)のものに限る。

他の学会・団体・大学紀要などへ重複投稿をしないこと。

期限を守り、編集委員会・事務局から問合せ・指示があれば、遅滞無く対応すること。

編集委員会からの連絡は E-mail を基本とするので、E-mail 確認を怠らないこと。

『移民研究年報』に論文または研究ノートとして掲載された場合、次年度号と次々年度号には投稿できない。ただし、依頼原稿はこの限りではない。

◆投稿から出版までのスケジュール

1 事前申込み：8 月末まで

投稿希望者は日本移民学会編集委員会宛に E-mail で事前申込みを行う。その際、氏名・所属・論文/研究ノートの種別・仮論文題目・使用言語を伝達する。

2 投稿期間：9 月 15 日～ 9 月 30 日(締切厳守)

投稿希望者は、提出ファイル一式(下記①～③)を E-mail にて期限までに編集委員会宛に送信する(ファイルは PDF 形式が望ましい)。

①申込書：ホームページからダウンロードして記入する。ファイル名は「[投稿者氏名]〇〇号申込書.pdf」とする。(例)山田太郎 30 号申込書.pdf

②原稿：詳細は執筆要領(ホームページ掲載)に従う。ファイル名は「[題名の先頭 10 文字全角].pdf」とする。(例)戦後 70 年の中南米に.pdf
原稿には本文中においても氏名・所属・肩書など投稿者が特定できる文言は記入しない。

③当該年度の年会費支払記録。ファイル名は「[投稿者氏名]2023 領収書.pdf」とする。(例)山田太郎 2023 領収書.pdf
ファイル形式は jpg (写真)でも良い。また、学会 web システムの年会費納入履歴表示コピーでも良い。

- 3 一次審査：10月1日～11月下旬
各原稿について複数の専門的査読者(レフェリー)による審査を行い、論文もしくは研究ノートとしての採否を決定する。場合によっては訂正・加筆を求めて仮採択とする。審査結果は、11月末を目処に編集委員会より各投稿者に連絡する。
- 4 原稿再提出：12月下旬
仮採択を受けた投稿者は修正済み原稿をE-mailにて期限までに編集委員会宛に送信する(ファイルはPDF形式が望ましい)。ファイル名は「再提出[題名の先頭10文字全角].pdf」とする。(例)再提出戦後70年の中南米に.pdf
原稿には本文中においても氏名・所属・肩書など投稿者が特定できる文言は記入しない。
- 5 再審査：1月頃
再審査の後、採否を決定する。審査結果は2月頃までに編集委員会より各投稿者に連絡する。
- 6 出版社入稿：2月下旬～3月
採択を受けた投稿者は、最終原稿に、氏名・所属・肩書を最新の『移民研究年報』に倣って付け加える。誤字脱字などを最終チェックした後、編集委員会宛にE-mailで次の2つのファイルを送信する。
①ワード形式の本文ファイル：「[投稿者氏名]〇〇号[題名の先頭10文字全角].doc」とする。
(例)山田太郎 29号戦後70年の中南米に.doc
②ワード形式の英文要旨ファイル：「[投稿者氏名]〇〇号・英文[題字の先頭10文字半角].doc」とする。
(例)YAMADA Taro29・In Central.doc
- 7 校正：2月～5月
原稿校正：2～3月。編集委員による委員会内部での校正。
初校：3月。ゲラ刷りの確認と訂正(誤字・脱字)。投稿者の作業。
再校：4月。最終的な確認と訂正(誤字・脱字)。投稿者の作業。
念校：5月。編集委員会の作業。
- 8 発行：6月30日
論文および研究ノート掲載者には、『移民研究年報』当該号3冊(会員送付分を含む)を配付する。

◆投稿先

〒153-8902 東京都目黒区駒場3-8-1 東京大学駒場キャンパス14号館

外村大研究室気付 日本移民学会編集委員会

E-mail: editorsjams2021@gmail.com